

職業・資格情報を探すには・・・

愛媛県立図書館（2012年1月）

【 職業の内容をしらべる 】

『しごとライブラリー』全4巻（雇用・能力開発機構私のしごと館 2004年） 366.29-シゴ 1～4-2004

703種類の職業について、仕事の内容、社会に果たす役割、求められる適性・資質、必要な資格・免許、仕事に就くための方法、先輩の体験談などをわかりやすく解説している。各巻末に項目索引あり。

『仕事のカatalog』（自由国民社 年刊） 366.29-シゴ*-*

約1600種類の職業・仕事を収録。職種の内容、従業員数・動向、業態・規模・独立開業比率、必要な学歴・経歴・資格・許認可、必要な経験・修行・時間・費用、業界団体の情報などを掲載。特集、コラムも充実。

『新13歳のハローワーク』（村上龍・著 幻冬舎 2010年） 366-41-2010 YA（ヤングアダルトコーナー）

500種類以上の職業を好きな教科を手がかりに探せるようになっている。索引あり。中学生向けだが、大人が読んでも十分読み応えがある。公式サイトもあり。

【 賃金・労働条件をしらべる 】

『賃金センサス 平成16年版』全4巻（厚生労働省統計情報部・編 労働法令協会 2004年） R366.4-シ 04-2004

平成15年7月に実施した「賃金構造基本統計調査」の結果をとりまとめたもの。労働者の種類、職種、性別、年齢、学歴、勤続年数、経験年数等、労働者の属性別の賃金の実態が把握できる。特定の職種の賃金の実態が知りたい場合は第3巻を見るとよい。調査対象となった職種の一覧および解説は第3巻の巻頭に掲載されている。「賃金構造基本統計調査」の最新のデータは「厚生労働省 厚生労働統計一覧」で見ることができる。

「民間給与の実態」（人事院）

国家公務員の給与を適正に定めるために行う民間事業所の給与水準の調査である「職種別民間給与実態調査」の結果をまとめたもの。公務と類似する職種94職種について、年齢階層別の平均給与月額がわかる。

『職員の給与等に関する報告及び勧告』（愛媛県人事委員会 年刊） えひめ資料室

愛媛県職員の給与を適正に定めるため、愛媛県人事委員会と人事院が実施した「職種別民間給

与実態調査」の概要を収録。調査対象職種は 76 職種に及ぶ。「県職員給与関係資料」も収録している。

『就労条件総合調査』（構成労働省統計情報部・編 労務行政 年刊） R366.4-シユ*-*

主要 13 大産業に属する民間企業の賃金、労働時間、労働費用、退職金給付制度などを調査したもの。

『毎月勤労統計調査地方調査年報』（愛媛県 年刊） RK366-34-04 えひめ資料室

常用労働者数 5 人以上の事業所における賃金、労働時間及び雇用について毎月の変動を調査したもの。産業大中分類についての性別労働者 1 人平均月間現金給与額、出勤日数及び実労働時間数、入・離職率並びに月末常用労働者数などが収録されている。最新の年報や月報のデータは、愛媛県庁ホームページ内「統計 BOX」で見ることができる。

「厚生労働省 厚生労働統計」にこれを全国規模でまとめた「毎月勤労統計調査」が掲載されている。

地域別・特定(産業別)最低賃金の全国一覧（厚生労働省）

各都道府県の地域別最低賃金額及び特定(産業別)最低賃金額が掲載されている。

【 各職業についてくわしくしらべる 】

『知りたい！なりたい！職業ガイドシリーズ』（ほるぷ出版）

『劇団にかかわる仕事』『家づくりにかかわる仕事』『食肉にかかわる仕事』などがある。ひとつのテーマごとに 3 つの職業を紹介。インタビューや漫画でわかりやすく解説している。

『なるには BOOKS シリーズ』（ペリかん社）

『農業者になるには』『弁護士になるには』『社会福祉士・精神保健福祉士になるには』『「和の仕事」で働く』などがある。その職業に就いている先輩の体験談を記した「ドキュメント」、その職業の説明である「仕事の世界」、職業のなり方を紹介した「なるにはコース」の 3 章構成になっている。

★この他にも、『船しごと、海しごと』、『パティシエになりたい人の本』、『グランドスタッフ入門』など各職種、業界について書かれた本を所蔵しています。「蔵書検索」システムで「書名」や「一般件名」に探したい職業名を入力して探してみてください。うまく見つからない場合は図書館の職員にお尋ねください。

【 資格の内容についてしらべる 】

『国家試験資格試験全書』（自由国民社 2006 年） R366-352-07

新会社国家資格・民間資格・検定試験・公務員採用試験約 1,400 種類を収録。資格の概要、取

得方法、内容、試験日程、受験者数・合格者数、問い合わせ先などを掲載。特に 40 の資格をくわしく解説した「メジャー資格パワフルガイド 40」や「要注目の新しい資格・検定」などの特集記事もある。

『資格図鑑！2012』（ダイヤモンド社 2011年） 366.29-カ 12-2011

47 の資格を有資格者への取材に基づいて紹介。取得エネルギーや就職可能性、一般的年収などの情報を掲載。「ちかごろ話題の資格」「ビジネス&マネー系資格」など 9 つのグループに分けて収録している。

【各資格についてくわしくしらべる】

ここに挙げた以外にもさまざまな資格についてのものがあります。

『調理師・専門調理師・調理技能士になるための完全ガイド』（主婦の友社 2011年） 596.07-チ 2011

『色彩のスペシャリストになる！？』（秀和システム 2008年） 757.3-シキ-2008

『保育士まるごとガイド』（ミネルヴァ書房 2010年） 376.14-ホイ-2010

【資格取得に役立つ雑誌】

『技術士』（日本技術士会 月刊） 寄贈雑誌

『企業診断ニュース』（中小企業診断協会 月刊） 寄贈雑誌

【ウェブサイト】

人材ニーズ調査

全国の商工会議所による生活・経済関連情報サイト CIN 内のコンテンツ。成長性・注目度の高い 100 職種の概要、ニーズ、能力開発、人材移動の状況などを掲載した「有望職種ハンドブック」や「人材市場アウトルック」などがある。